‿・・・・・・・・・・・・・*‿*
▼△高速道路運転中にまさかの事故！～安全なドライブのために△▼
‿・・・・・・・・・・・・・*‿*

高速道路の交通事故では、故障・事故などで停車した車や路上に降り立った人に、後続車が衝突するという事故が後を絶ちません。
「まさか自分の車が故障や事故なんて…」
「停車している車や人が路上にいるなんて…」
というドライバーの油断や慢心などが重大事故を引き起こす要因になっています。
高速道路での事故防止のために心がけたいポイントを紹介します。

■どんな事故が多い？
「高速道路は歩行者や自転車が進入できないから普通の道路より安全！」
と考えているドライバーもいるようです。
しかし、高速で走行する自動車がひとたび事故を起こした場合、重大事故となる危険をはらんでいます。
高速道路で発生しやすい事故には、次のようなものがあります。

○渋滞最後尾への追突
車両故障や事故、工事などの様々な理由で発生した渋滞の最後尾で停車・減速している自動車に、後続車両が気付くのが遅れ追突。

○簡易な仕切り区間で反対車線はみ出し
ポストコーンなどの簡易なもので仕切られた片側１車線道路において、走行中の車が何らかの理由で反対車線にはみ出して対向車と正面衝突。

○逆走
誤って進行方向と逆の方向に走行（逆走）し、向かってくる自動車と正面衝突。
特に最近は、高齢ドライバーの割合が高い傾向が続いています。

○停車している車や、降車して路上に降り立った人に衝突
車両故障や事故などで、本線車道、または路肩に停止した自動車や、路上に降り立った人に後続車が衝突。
故障や事故などで停車した場合、後続車が前方で停車中の車に早めに気付くように、ドライバーは三角停止表示板など「停止表示器材」の表示が法律によって義務付けられています。
～事故事例
交通量が少ない高速道路で、単独事故を起こした運転者が、車内に留まり 110 番通報している最中に後続車に追突された。事故発生当時、三角停止表示板などの停止表示器材の表示はなかった。

○車外へ放り出される
ガードレールなどへの衝突によって、乗車している人が窓ガラスを突き破って車外へ投げ出され、アスファルトに激突したり、後続車にひかれたりするケース。
特に、全席シートベルトの着用が義務付けられている（※）にもかかわらず、未着用であった乗員が車外へ放り出される場合が多い。

○二輪車の関係する事故
二輪車が、単独でガードレールに衝突したり、他の車両と衝突して二輪車が転倒したりする事故が多い。

■□ 事故防止のポイント～その１「点検」□■

高速道路での交通事故には、「車両故障が起こらないようにしていれば」または「停止表示器材を携行して、故障や事故のときにきちんと表示していれば」未然に防げたケースもあります。
高速道路の利用前には次の点を確認しましょう。

・出発前の十分な点検・整備
走行中に故障が発生しないよう、自動車の定期点検や日常点検をきちんと行いましょう。

・発炎筒や停止表示器材の携行
発炎筒と三角停止表示板を常備し、使い方も覚えておきましょう。
なお、発炎筒には有効期限（JIS 規格で 4 年間）があるので注意してください。

■□ 事故防止のポイント～その 2「ルールとマナー」□■

あおり運転（妨害運転）など悪質・危険な運転が重大な事故を引き起こす原因になる一方、ちょっとした不注意やルール・マナー違反が大きな事故につながることもあります。

・追越車線ばかりを走らない
追越車線（車線が複数ある場合の一番右側の車線）は追越しのための車線なので、追越しが終わったら速やかに走行車線に戻りましょう。

・安全な速度と十分な車間距離を保って走行
道路標識や電光掲示板などに注意して、周囲の状況にあった安全な速度を保ちましょう。
また、前の車が急停止した場合に備え十分な車間距離をとってください。

◎参考リンク
警察庁「交通事故に直結する高速道路上の主な交通違反」
https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/highway/img/20120821_kouki.pdf

■□ 事故防止のポイント～その 3「故障や事故が発生したとき」□■

万一、高速道路で故障や事故が発生し、やむを得ず駐停車するときは、二次的な事故を起こさないようにすることが重要です。
後続車に十分注意をして、次のような対応をとってください。

・ハザードランプを点灯させ、路肩に停車
追突防止のため、ハザードランプで故障や事故発生の合図をしましょう。
故障時には急ブレーキをかけずに減速し、できるだけ路肩に寄せてハザードランプを点灯したまま停車してください。

・発炎筒、停止表示器材を後方に設置
乗員は、全員すぐにガードレールの外など安全な場所に避難してください。
後続車に十分注意して、停車した車の後方で、後続車から見やすい場所に発炎筒や停止表示器材を設置しましょう。

・引き続きガードレールの外側など安全な場所に避難
引き続きガードレールの外側など安全な場所に避難。車に戻ったり、路上に残ったりしないでください。

・発生した故障・事故状況を通報
まずは、下記のいずれかに通報してください。

◎高速道路での緊急通報先
・110 番
・道路緊急ダイヤル「＃9910」
・非常電話*
*1km（トンネル内は 200m）ごとに設置。受話器をあげれば道路管理者交通管制室につながる。

通報内容は、故障または事故の種別、停車場所（路肩にあるキロポストなど）、負傷者の有無など。

※自分や同乗者、相手方の安全確保、けが人がいる場合はけが人の救護を最優先に行います。
警察への連絡、相手の情報の確認、事故状況の記録、それから保険会社へ連絡してください。

以上